

## 植物におけるクローン増殖の効率向上

生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 植物バイオサイエンス分野

◆小田 雅行 /教授 淨閑 正史 /客員研究員

TEL:072-254-9426 FAX:072-254-9918

E-mail:moda@plant.osakafu-u.ac.jp

### ■技術の概要

突然変異によって、品種改良の期間を経ずに優れた個体を得られる。しかし、この個体の効率的な増殖法はなかったため、品種化できても種苗価格が高く、普及面積も限られていた。当研究室では、これを解決するクローン増殖法をトマトで開発し、その増殖効率は従来の5倍程度に高まった。本法は、ナス、タバコ、ブロッコリーにも適用できたので、そのほかの植物を含む新しいクローン増殖法として開発が進む見込みである。

### ■従来技術・競合技術との比較

開発した全茎切断法では300本／株の挿し苗が得られ、従来のクローン増殖法である脇芽増殖(65本／株)の約5倍の挿し苗が得られた。条件によっては1000本を採取できるので、2000～3000粒を採種できる種子繁殖の効率近づいている。

### ■技術の特徴

- ・高効率のクローン増殖
- ・品種化の促進
- ・簡単で安価な増殖法

### ■想定される用途

- ・突然変異株の早期品種化
- ・地域に適した品種の育成
- ・F1(ハイブリッド)品種親の増殖
- ・単為結果品種の増殖